

い

編集発行：池田市議会
住所：大阪府
池田市城南
1丁目1番1号
郵便番号：563-8666
TEL：072-752-1111
FAX：072-753-5414
http://www.city.ikeda.
osaka.jp/

いけだ
No.186
だ

いけだ市議会だより 令和5年(2023年)11月1日



運動会(北豊島小学校)

9月定例会	2
意見書	3
議会日誌	3
一般質問	4
委員会レポート	10
議決結果	12
やまばと	12

池田市議会 録画映像配信を行っています

市議会では議会改革の一環として、代表質問・一般質問の録画映像配信を行ってききましたが、令和4年3月定例会からは、さらに本会議の議案審議等の録画映像配信を開始しました。

本号 P.4～P.9 に掲載の一般質問については、紙面の都合上、一部しか掲載できませんので、詳細については、外部サイト「YouTube」において配信しております録画映像を御覧ください。

池田市議会 映像 🔍





9

月定例会



9月定例会は、9月5日に開会し、市長から報告案件1件と議案22件並びに表彰案件1件と人事案件2件が提出され、本会議及び委員会にて審議を行い、いずれも可決・同意しました。

また、9月26日・27日の継続会では、市長から提出された追加議案1件を審議し、原案どおり可決した後、市民の声を広く市政に反映させるため、16人の議員が一般質問を行い、9月定例会を開会しました。

なお、令和4年度の一般会計・特別会計・企業会計の決算議案8件については、議会閉会中の常任委員会に審査付託しました。

新型コロナウイルスワクチン 接種事業に係る補正予算を即決

9月20日から始まった新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る補正予算について、定例会初日に審議し、全会一致で即決しました。

これにより、来年3月末までワクチン接種が継続して行われることになりました。

上下水道料金の改定について

今回、水道の使用料について、適格請求書等保存方式（インボイ

ス制度）の開始に伴う所要の規定の整備を行うとともに、水道事業の健全経営に資するよう、水需要の変化に対応した料金体系の見直しと改定を行うため、池田市水道事業給水条例の一部改正案の提案がありました。

水道料金改定の具体的な内容は、料金体系を変更するもので、基本料金については、水需要の増減に収入が影響されにくい体系として、費用負担の公平性を図るため、用途別料金体系から口径別料金体系への変更を行い、メーター料を廃止します。

また、通増度（使用水量が増えるほど単価が高くなる）の緩和を行うため、大口使用者の超過料金を

について、一定程度引下げを行います。

水道料金の平均改定率は4.73%で、施行日は令和6年1月1日です。

水道事業においては、平成29年度に策定された池田市上下水道事業経営戦略に基づき事業を行っており、経営戦略は5年ごとに見直しを行っています。

今回の提案は、令和4年度に開催された上下水道事業経営審議会の水道事業を安定して行っていくためには、5%程度の引上げが必要であるとの答申を受けての対応です。

審議の中では、物価高騰が続き、市民生活に負担の大きい時期での提案に至った経緯や、市民生活への影響に対する補助の有無などについて、活発な質疑を交わしました。

その他、物価高騰の折、公共料金の値上げは行うべきではない。水道事業は独立採算制であるというならば、値上げ分は一般会計から負担すべきであるとの反対意見がありました。

一方、今後も継続して安定給水を行うために、老朽化施設の維持管理の必要性は理解できる。よって、引上げはやむを得ないとの賛成意見があり、採決の結果、賛成

多数で可決しました。

また、同時に池田市下水道条例の一部改正案の提案がありました。

こちらの提案についても、水道事業給水条例と同様に、適格請求書等保存方式の開始に伴う所要の規定の整備を行うとともに、公共下水道事業の健全経営に資するよう、水需要の変化に対応した改定を行います。

下水道使用料改定の具体的な内容は、基本料金と超過料金について、全てのランクで一定程度の引上げを行うものです。

下水道使用料の平均改定率は19.76%で、施行日は令和6年1月1日です。

公共下水道事業においても、平成29年度に策定された経営戦略に基づき事業を行っており、令和4年度に開催された経営審議会において、公共下水道事業を安定して行っていくためには、20%程度の引上げが必要であるとの答申を受けての対応です。

審議の中では、改定率が下水道使用料のほうが水道料金よりも高い理由や、公衆浴場の単価を見直さなかった理由などについて、活発な質疑を交わしました。

その他、水道事業と同様に物価高騰の折、値上げはすべきでない。

値上げ分は一般会計から負担すべきであるとの反対意見がありました。

一方、節水機器の普及や大口使用者の使用量の減少、老朽化施設の整備費用の確保のため、引上げはやむを得ないと賛成意見があり、採決の結果、賛成多数で可決しました。

石橋小学校と北豊島小学校に 留守家庭児童会専用棟を建設へ

プレーパークを核とした子どもの居場所づくりの推進と子どもの意見収集を行う池田子ども居場所づくり推進事業や、令和6年度を目途に石橋小学校と北豊島小学校に留守家庭児童会の専用棟を建設するための設計委託料、敬老会館の閉館に伴う利用者の代替施設の整備費用などに係る補正予算案が提出されました。

採決の結果、全会一致で可決しました。

意見書

9月定例会においては、次の意見書を採択し、関係機関に送付しました。

○教育費負担軽減のため、給付制奨学金の対象拡大、給食費無償化などを求める意見書

議会日誌

8月

8月23日 議会運営委員会
8月31日 各派代表者会議
議会運営委員会

9月

9月5日 市議会定例会
市議会だより編集
特別委員会
9月7日 土木消防委員会
9月8日 厚生委員会
9月11日 文教病院委員会

10月

9月12日 総務委員会
9月26日 各派代表者会議
議会運営委員会
9月27日 市議会定例会
議会運営委員会
10月3日 決算説明会
議会運営委員会
10月6日 市議会だより編集
特別委員会
10月17日 市議会だより編集
特別委員会

議会の予定

12月定例会は、次の日程で開催する予定です。本会議・委員会はいつでも傍聴できます。開会は、いずれも午前10時からの予定です。(定員あり)

12月 5日(火)	本 会 議
12月 7日(木)	委 員 会
12月 8日(金)	委 員 会
12月 11日(月)	委 員 会
12月 12日(火)	委 員 会
12月 21日(木)	本 会 議
12月 22日(金)	本 会 議

本会議・委員会を 傍聴しましょう

本会議・委員会は誰でも傍聴できます。

本会議は、市役所4階傍聴席入り口で住所、氏名を記入するだけで傍聴できます。

本会議を傍聴される方への手話通訳も行っておりますので、御希望の方は、事前(おおむね5日前まで)に議会事務局まで申し込んでください。

委員会は、傍聴席の関係で5人まで傍聴できます。

なお、5人を超えた時は、別室で音声を聞くことができます。

「声の市議会だより」を 郵送で貸し出します

市内にお住まいの視覚障がいのある方(障がい者手帳をお持ちの方)に、「声の市議会だより」を無料で、郵送により貸し出しています。

お気軽にお問い合わせください。
お問い合わせは議会事務局
(電話)754・6170



一般質問は、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをただすもので、定例会に限って行います。今議会は16人の議員が市政全般について、市長及び関係部署の考えをたきました。主な内容は次のとおりです。(一般質問の内容については、質問議員各自の原稿によって編集しています。)

問 女性のフェムケア推進について
見解を問う
(大阪維新の会池田)

答 女性特有の健康課題について、不安や悩みを相談できる相談窓口と公式ラインのコンテンツの拡充、フェムケア用品購入サポートに関する補助金の創設を求め、見解は。

問 市民のニーズを踏まえた上で
検討していく

答 女性のライフステージに応じた健康課題と合わせて、各種のフェムケア用品についても、今後、啓発を行っていく。公式ラインを活用した相談窓口設置とフェムケア用品の補助金においては、今後、ニーズを踏まえ、研究した上で、検討していく。

問 大阪国際空港への
国際便導入について
(自由民主党)

答 物流拠点としての発展や万博を見据えた地域活性化の観点から、国際便運航開始に関する検討状況を問う。

問 周辺市との協議を継続

答 同空港については、国際便の就航可能性を含めた今後の在り方を状況に応じて議論する旨が合意されたが、その後の議論は進んでいない。

答 今後も大阪国際空港周辺都市対策協議会の中で、利便性向上を含め、周辺市と協議していく。

問 財政の評価と
バランスシートの活用について
(未来はくくプロジェクト)

答 民間企業の評価は損益計算書と合わせてバランスシートが重視される。自治体の財政も財政調整基金の残高や市債の残高だけを見ていても適切に評価できず、資産・負債のバランスやその推移を見ていくことが有効である。バランスシートの活用について問う。

問 バランスシートの活用を
図っていく

答 統一的な基準による公会計の導入により、発生主義・複式簿記の導入、バランスシートの基となる固定資産台帳の整備が図られている。ストックとフローを一体的に評価する上では有効であることから、今後も活用を図っていく。

問 ふるさと納税の使い道指定の
実績について
(未来はくくプロジェクト)

答 これまで寄附者が指定された寄附金の使い道の実績・傾向について問う。



問 イメージしやすい事業に
寄附金が集まる傾向

答 これまでに五月山動物園や五月山に関する使途に5千万円以上の寄附が集まっているほか、「市立池田病院の医療従事者を応援するため」の使途にも1千万円以上の寄附が集まった。寄附金の活用が分かりやすくイメージしやすいものに寄附金が集まるものと認識。

問 ふるさと納税を
増やしていくための方法は
(自由民主党)

答 どのようにしてふるさと納税を増やそうと考えているのか。

問 寄附の使い道を具体的に示し
返礼品も充実

答 今後、具体的な寄附の使い道を示すなど、時勢に応じた事業の寄附活用を全庁的に進めていくほか、ポータルサイトの活用及び返礼品の充実・PRにも努めていく。

問 第6次池田市総合計画の検証と
評価について
(自由民主党)

答 第6次池田市総合計画は終了したが、その検証と評価を問う。

答 市民意識調査と内部評価の2側面から実施

第7次池田市総合計画の策定に当たり、第6次池田市総合計画の振り返りを市民意識調査と内部評価の2側面から実施した。市民から高い評価を得た施策は、消防・救急、市街地整備、地域医療等。低いと評価された施策は、労働・雇用、地域福祉等。この結果と内部評価の結果を踏まえ、今後、取組を進める必要があるとされた施策としては、社会福祉の推進、高齢者福祉・介護、環境にやさしいまちづくり、コミュニティの活性化、国際交流・地域交流等が挙げられ、

こうした内容を踏まえ、第7次池田市総合計画の施策の柱及び具体的な施策を設定。

問 2032年
定住人口10万人維持について
(自由民主党)

7次池田市総合計画で定住人口目標を設定しているが、まちづくり人口の増加をどのように定住人口10万人維持につなげるのか。

答 本市の魅力創出と発信に積極的に取り組む

近年のデジタル技術の発展や地方創生施策の推進により、定住人口増加への起点になるものと期待

する。

問 若手職員が前向きに働ける環境づくりを
(池田未来の会)

スキルアップした若手職員は労働市場では魅力的であり、転職の懸念がある。仕事のやりがいやその意義を上位職が語る機会をつくる必要があるが、こうした取組について問う。

答 既存の人材育成策と新たな仕掛けを検討

人事評価制度における面談で機会の創出を図っている。また、若手職員への研修で市長講話や質疑応答で助言等をする機会があり、10月には子育て中の職員との座談会を企画している。

問 今後の大1文字
がんがら火の運営について
(池田未来の会)

愛宕火保存会を長年関わりのある人々で令和4年8月24日に立ち上げた。本年度に大1文字がんがら火広報誌募集に20名の名簿を集めて参加と松明の作り手の応募をしたが、参加できなかった。現状を踏まえての見解を問う。

答 各関係者間が協力して盛り上げることが重要

作り手や担い手不足といった課題を抱えていると認識。広報誌で幅広い方々に参加の募集を行っているが、受付等は大1文字がんがら火保存会が実施。

問 期日前投票所
開催期間の延長を
(公明党)

本年4月開催の統一地方選挙から、念願であったツナガリ工石橋での期日前投票が実現したが、開催期間が最後の2日間だけだったのはなぜなのか。

近隣市では、箕面市で3会場、豊中市で2会場、市役所以外の会場でフル日程で開催されている。本市においても、開催期間の延長を検討するべきでは。

答 費用対効果等を勘案し
選管にて決定

人的確保の課題や運用にかかる費用等の問題を勘案し、選挙管理委員会等で2日間と決定。

開催期間延長は、有権者のニーズや費用対効果を基に選挙管理委員会が決定するべきと考えている。

一般質問議員

一般質問を行った議員は、次のとおりです。

- 1 笹村 有理子 (大阪維新の会池田)
- 2 沖本 純子 (大阪維新の会池田)
- 3 名村 研二郎 (未来はぐくむプロジェクト)
- 4 松本 康二郎 (自由民主党)
- 5 倉田 晃 (未来はぐくむプロジェクト)
- 6 西垣 智 (自由民主党)
- 7 下窄 明 (池田未来の会)
- 8 藤本 昌宏 (公明党)
- 9 坂上 昭栄 (池田未来の会)
- 10 守屋 大道 (池田未来の会)
- 11 園部 佳子 (未来はぐくむプロジェクト)
- 12 三宅 正義 (大阪維新の会池田)
- 13 小林 正典 (自由民主党)
- 14 多田 隆一 (公明党)
- 15 山元 建 (日本共産党)
- 16 藤原 美知子 (日本共産党)

(※質問順)

問 大阪万博は中止
申し入れるべき
(日本共産党)

答 会場建設費やインフラ整備費等の大幅な上振れによる国民負担増など、問題山積の大阪・関西万博は国民の関心も低い。国・府に中止を申し入れるべき。

問 機運醸成の取組を
推進していく

答 経済成長につながる国家プロジェクト。機運醸成の取組を国や大阪府・市と連携して推進する。

問 酷暑対策として
さらなる公共施設開放を
(日本共産党)

答 熱中症対策として、今夏市内4つの市立公共施設が開放された(クールシェア)。共同利用施設などにも広げるべき。

問 クールシェアを推進する

答 市民の健康と命を守るため、クールシェアは必要。共同利用施設に
来られた場合も拒まない。

問 スクールカウンセラーの
現状について
(大阪維新の会池田)

答 スクールカウンセラーの採用方法、児童・生徒や保護者への周知方法は、また、児童・生徒にとって相談しやすい環境にあるのか。

問 面談をはじめとした
支援業務を行っている

答 公認心理師・臨床心理士の資格を持ち、スクールカウンセラーとしての識見を有する人材を推薦の上、面接により採用。学校ホームページや文書でのPRで周知し、スクールカウンセラーが、顔の見える身近な存在として、授業観察見守り、声掛けなどとして認識不足を解消していく。



問 児童によるICT機器を
活用した相談体制を
(公明党)

答 一人一台のタブレット端末は、心の状況を書き込むなどして、いじめの防止にも使つていけるツールになると言われている。そこで、端末を活用しての教職員と児童が相談や連絡する現状は。

問 中学校において
相談希望などを試行中

答 児童についても同様の取組が可能か検討。児童・生徒が安心できる相談体制を構築する。

問 市内学校園のいじめ件数
認知・対応体制は
(未来はくくむプロジェクト)

答 いじめについて、学校、家庭、行政が協力して考えていく必要がある。発件数はどうか。
児童・生徒、保護者がいじめに気づいた場合、誰に相談すればよいか。

問 いじめ認知数は
令和5年7月末時点で93件

答 内訳は小学校52件、中学校41件。学校の管理職、生徒指導、養護教諭、学年の担任、スクールカウンセラーやソーシャルワーカー等で構成さ

れる、いじめ対策組織で情報共有し、認知、対応する。いじめの相談先は、在籍校、教育委員会、教育センターに相談できるほか、電話やオンラインでの相談についても周知を図っている。

問 児童・生徒の
熱中症予防について
(大阪維新の会池田)

答 近年暑さが増してきており、熱中症になる児童・生徒が全国でも多数発生している。本市でも熱中症対策として、体育館への空調整備などに積極的に取り組んでいるが、さらなる熱中症予防として冷水器や給水機の導入が効果的と考えるが、見解を問う。

問 可能な限り早い段階での
整備に努める

答 熱中症予防として、主な教室等に空調機器の整備を優先的に実施。加えて屋内運動場への空調設置も令和4年度に完了。その他の熱中症対策として、冷水器の導入も検討しており、他の施設整備との優先順位を考慮しつつ、可能な限り早い段階での整備に努める。

問 小中学校の支援学級数と通級指導教室数は

(大阪維新の会池田)

支援学級及び通級指導教室の教室設置数並びに通級指導教室の利用人数及び担当教員数を問う。

答 支援学級は99学級
通級指導教室は17教室

令和5年度の支援学級数は99学級、在籍数525人、支援学級担任99人に加え、各校に支援教育チーフコーディネーターを配置。通級指導教室は設置数17教室、指導を受けている児童・生徒数2333人、担当教員数17人を配置し、指導に当たっている。

問 学校給食における食育と食品ロスについて

(池田未来の会)

学校給食における残食率の推移とその残食率に対する評価を問う。

答 中学校は残食率が低下
小学校は横ばい

令和4年度より給食内容の充実のための予算措置を受け、中学校は食材の変更を行い、内容面で充実を図った。小学校は品数を1品増やしボリューム面で充実を図った。

問 給食費無償継続と調理は市直営に戻すこと

(日本共産党)

小中学校の給食は食育であり、国の制度として給食費無償化を求め、その間は市独自で継続実施し、保護者の負担軽減を図ること。調理業務は市直営に戻し、食の大切さ、美味しさを追求し、安全で安定した給食を提供すること。

答 財政状況等見ながら慎重に判断していく

物価の高騰が続く中、保護者の経済的負担軽減の意義は大きい。来年度以降の実施は物価高騰の状況や国・府の動向、市の財政状況を見ながら慎重に判断したい。調理業務は、市が責任を持って業者に指導・監督を行い、安全・安心な学校給食の提供に努めていく。



問 男性のHPVワクチン接種希望者への補助

(大阪維新の会池田)

女性に限らず男性においても、諸疾病への感染予防に寄与するとされる子宮頸がん予防ワクチン接種による、感染や発症予防の必要性を鑑み、女性のワクチン接種希望者同様に男性においても公費負担にて希望者へ接種費用の補助を検討してはどうか。

答 男性へのワクチン接種の補助の必要性を検討

国の審議会では定期接種に位置づけることは是非を検討しているところと聞く。本市においても国の調査等、動向を踏まえつつ、HPVワクチン男性接種希望者への補助の必要性を検討する。

問 おむつ等の定額使い放題について

(大阪維新の会池田)

公立保育所におけるおむつやおしりふきのサブスクリプション(定額使い放題)について、養育者と保育者の持ち物管理等の負担軽減のため、本市でも試行的に導入の検討をしてはどうか。

答 市民ニーズの多様化の中検討の必要性を認識

おむつ等のサブスクリプション導入について、本市では今のところ予定していないが、社会情勢が変容し、市民ニーズが多様化していく中で今後、検討の必要性があるものと考えている。

問 ひきこもり等の担当課がない現状について

(未来はくくむプロジェクト)

ひきこもり等に関しては、社会的にも大きな課題である。背景や要因は多岐にわたるので、支援は包括的に展開すべきだが、その入り口や要になる担当課がないことは支援体制が機能しにくい。担当課の設置を望む。

答 現時点において担当課の設置は考えにくい

市の各分野の相談窓口や各相談支援機関が必要に応じ連携し、対応している。また、専門の窓口を設けるためには、経験豊富な職員の配置も必要であり、現状においては難しい。

問 「子ども・若者支援地域協議会」等について（未来はくみプロジェクト）

答 社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者（概ね15歳～39歳）を対象とした「子ども・若者支援地域協議会」「子ども・若者相談センター」設置を求める。

問 その必要性も念見極めたい

答 総合的かつ効果的に支援を実施するためには、いかに各部署が具体的に連携し、切れ目のない相談・支援を行っていくかが重要である。地方公共団体の努力義務である「子ども・若者支援地域協議会」及び「子ども・若者相談センター」の設置については、その必要性も含め見極めていく。

問 子ども食堂の趣旨をPRすべきときえる（池田未来の会）

答 子ども食堂は困窮世帯の子どもが集まる場所のイメージが強い。「子ども居場所」や「地域に開かれた誰でも利用できる場所」を周知すること、子ども食堂に関心を持つ市民が参加するきっかけをつくるべく子ども食堂の研修会を実施すべきときえるが、見解を問う。

問 継続した支援と周知に努め研修会も検討する

答 子ども食堂は子どもや保護者の交流及び地域でのつながりを育み、地域活性化にもつながる場所として期待できる。子ども食堂の運営団体と協力した研修会等も事例を調査して検討していきたい。

問 故人の尊厳を守る終活支援を（公明党）

答 神奈川県横須賀市の終活情報登録伝達事業は、緊急連絡先や工ンディングノートの保管場所、墓の所在地などの情報を市に登録でき、万一の際は、警察や医療機関などからの問い合わせに市が対応し、本人に代わって登録情報を伝える事業である。

問 終活支援とは、引取り手のない遺骨の問題が注目されているが、これは生前の身寄りなし問題であり、死後の遺留金品や空き家をどうするかという問題と根本は同じと指摘されている。そこで、終活支援が図れる体制の構築を。

問 終活に関する情報提供や支援に努める

答 インディングノートの作成を進めており、完成後には活用についての講座の開催も検討している。

問 子ども条例の見直しと権利擁護委員会設置を（日本共産党）

答 国連「子どもの権利条約」に沿った条例の見直しと、子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、意見を表明する権利を保障するため、市からの独立性と協力・連携・権限を備えた権利擁護委員会の設置、相談体制の確立等子どもの権利を守る体制づくりを急ぎ進める必要があるのではないかと考える。

問 権利擁護委員会設置の可能性を検討している

答 子どもの権利擁護委員会は、相談体制等、導入自治体の聴取や実施の可能性を検討しているところ。

問 市庁舎1階福祉バス待合コーナーの設置について（池田未来の会）

答 庁舎前では施設循環福祉バスを待つお年寄りの方が立ちながら待機されている。庁舎入り口の閉鎖している扉を開放して椅子等を並べて待合室としての利用や庁舎内に福祉バスの待合コーナーの設置、熱中症対策を行うことが必要であるときえるが、見解を問う。

問 関係各課と調整の上検討する

答 市役所前のバス停は多くの方が利用しているが、バス停前で待機する方もいれば、到着時間まで市役所ロビーで待機されている方もいる。気温の上昇する中、熱中症対策は必要である。

問 地域共生社会における人材確保について（池田未来の会）

答 高齢者施設の介護福祉士などの職員や在宅ではケアマネ・ホームヘルパーなどの人材不足が予測され、介護現場では人員確保の難しさがある。地域社会においても担い手不足。今後どのように人材確保に努めていくのか、見解を問う。



答 介護の魅力を発信
壮年期世代へ参加促進

介護現場で働いている職員から求職中の方に向けて体験談を語ってもらい、介護職のやりがいを伝えてもらっている。また、ハローワークと連携し、合同の就職面接会を実施し、さらに深めていく。

地域の担い手不足については、地域福祉計画で次の世代として壮年期世代への参加促進を働きかけることを示した。また、壮年期に限定したものではなく、広く周知する中で壮年期の方にも届くような工夫が必要だと感じている。

問 補聴器購入補助を
実施すべき

(日本共産党)

鬱や認知症発症の原因にもなる加齢性難聴対策として、補聴器購入補助制度を導入すべき。



答 国が制度化すべき

加齢性難聴対策で補聴器購入補助は有効。市としては制度創設は考えない。

問 企業誘致の促進について

(自由民主党)

阪神高速道路、中国自動車道、新名神高速道路などの高速交通網へのアクセス性や、鉄道網、航空網への利便性の高さを生かした大手物流倉庫などの企業誘致を推進すべく対応状況を問う。

答 地域振興拠点の整備による
企業誘致を推進

企業誘致できる規模の市街化区域、市街化調整区域ともに、公有地を有していないが、池田市市街化調整区域まちづくり基本方針に基づき、細河園芸センター周辺での農園芸をテーマとした地域振興拠点の整備により、企業誘致につなげていきたい。

問 環境に関し
生ごみ処理について問う

(未来はくへくプロジェクト)

今後、自宅でも処理が可能な生ごみを燃えるごみと分けられるよう、

焼却エネルギーの削減ができることを考える。現状、燃えるごみのうち、生ごみ量はどのくらいか。

答 燃えるごみ中の生ごみ量は
把握していない

生ごみを分別して回収していないため、燃えるごみの全体量しか分からない状況。令和4年度の燃えるごみ排出量は市民一人当たり1日411g。ごみ処理には年間13億円の経費がかかっている。

問 市内公共交通に対する
考え方について

(自由民主党)

市内公共交通を持続可能なものにしていくために必要なことは、

答 地域特性やニーズに応じた
サービスが必要

快適に暮らせる移動環境には、路線バス等の公共交通を軸とした交通ネットワークの形成が重要と認識しており、民間事業者、自治体及び市民が協働し、地域特性やニーズに応じたサービスを展開することが必要だと考えている。

問 市民の移動困難解消の取組を
(公明党)

池田市南部地域で予定されていたデマンド交通実証実験が見直され、検討をし直すとなったが、来年度から取り組まれるのか。

それよりも、タクシー料金の補助チケットや民間バスの補助チケットなどのほうが有効ではないか。

答 提案された事例についても
検討していく

さらなる調査・研究が必要なために、来年度からの実施は困難。近隣の事例や、提案いただいた内容についても検討していく。

問 給水管理設時における
同意書提出の必要性は

(自由民主党)

地権者からの同意書は必要か。

答 改正民法の適用を受ける場合は
同意書不要

令和5年4月施行の改正民法で他の土地に設置しなければ水道水の供給ができない場合、他の土地を使用できると明記されたことから同意書は求めている。



委員会 レポート



9月定例会では、市長から提出された議案のうち13件の議案を、市議会に設置している常任委員会に審査付託し、細部にわたり慎重に審査しました。

9月26日の本会議では、各委員長が審査の結果報告を行い、市長から提出された議案はいずれも原案どおり可決しました。

各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

文教病院委員会

留守家庭児童会専用棟の
供用開始までのスケジュールは

〈一般会計補正予算〉

問 今回、石橋小学校及び北豊島小学校に留守家庭児童会の専用棟の建設に係る設計委託料を追加補正しているが、供用開始までのスケジュールについて問う。

令和6年度に着工し
7年度4月までに供用開始

答 留守家庭児童会専用棟の供用開始までのスケジュールについては、補正予算案が可決されれば、入札を行い設計委託業者を決定し、令和6年度予算に工事請負費を計上する予定である。

その後、令和6年度中に建設工事に着手し、令和7年4月までに供用を開始したいと考えている。



厚生委員会

多世代交流施設のコンセプトは

〈敬老会館条例の廃止〉

問 本条例の廃止は、施設の老朽化に伴い、敬老会館を令和6年3月末で廃止するための提案である。敬老会館がある、いわゆる敬老の里の敷地内に、新たに多世代交流施設を建設することであるが、新施設のコンセプトについて問う。

子どもから高齢者が集い
交流できる施設

答 新施設のコンセプトについては、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々に施設を利用していただくために、これまでの貸館機能に加え、フリースペースやキッズスペース、学習スペースなどを設置し、より多くの方々ニーズに応えられる施設にしたいと考えている。



出産・子育て応援交付金
給付事業の課題は

〈一般会計補正予算〉

問 出産・子育て応援交付金給付事業に係る交付金を追加補正している。

本市においても本年3月から、出産・子育て応援交付金を活用し、妊娠届出をされた方には、出産応援ギフトを、出産後に赤ちゃん訪問を受けられた方には、子育て応援ギフトをそれぞれ5万円給付している。

当該事業は今後も継続していくものと考えているが、現在の課題について問う。

赤ちゃん訪問を希望されない方が
一定数いる

答 本市においては、これまでから伴走型相談支援として妊娠届出時に保健師が全ての妊婦と面談を行っている。

一方、生後4か月までの全ての赤ちゃんのいる家庭を訪問する赤ちゃん訪問は、訪問を希望されない方が一定数いるという課題がある。

今後、子育て応援ギフトの周知徹底や妊娠届出時に配付している妊娠8か月頃アンケートにより、妊娠・出産後のサポートを行い、

一人でも多くの方に赤ちゃん訪問を受けていただけるよう努めていきたい。

土木消防委員会

料金改定に至った経緯について

《水道事業給水条例の一部改正ほか》

問 今回の提案は、水道料金の基本料金をこれまでの用途別料金体系から口径別料金体系に変更するとともに、メーター料を廃止し、水道料金を平均4.73%引き上げるものである。

この時期に料金改定を提案するに至った経緯について問う。

料金改定により健全経営を 実施できるとの答申を受けたため

答 高度経済成長長期に整備した施設が更新時期を迎えている中で、節水機器の普及や社会情勢の変動等により、使用水量が減少し、料金収入も減少している。

このような中、安定給水を継続していくためには、経営基盤の強化を図ることが必要であるために、平成29年度に上下水道事業経営戦略を策定した。

本計画において、財源目標とし

て、中長期的な財政運営に必要な資金の確保と令和9年度の損益黒字の確保を掲げるとともに、令和5年度に口径別料金体系への変更を含めた5%の料金改定を想定していた。

本計画は5年ごとに見直しを図ることとしており、令和4年度に開催した池田市上下水道事業経営審議会において客観的な検証をしていた。

令和5年度の料金体系の変更及び5%の改定を含めた計画改定案について、本改定案を基に事業を推進することで健全経営を実施できるとの答申を受けたため、今回提案するに至った。



使用料収入の増加策として企業誘致の推進は

《公共下水道事業会計補正予算ほか》

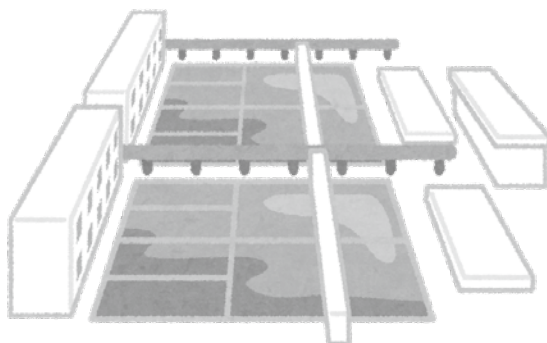
問 公共下水道事業においても、水道事業と同様に節水機器の普及や大口使用者の汚水量の減少により、下水道使用料の収入が減少している。

今後、使用料収入の増加策として企業誘致の推進も1つの方策であると考えますが、見解を問う。

企業から土地活用の 相談があれば検討していく

答 企業誘致については上下水道部だけでなく、市全体で検討していくべき課題であると認識している。

今年度からスタートした第7次池田市総合計画において、目指すまちの将来像を達成するために、10年後の定住人口の10万人維持を目標としており、上下水道部としても、安全で安定した水の供給とともに下水道施設の更新、維持及び保全に努めていく中で、本市の魅力向上を図っていききたい。今後企業から土地活用の相談があれば、市として積極的に検討していきたいと考えている。



○市長提出議案及び議決の結果

議 案 名	議決の結果
令和4年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率について	報 告
池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市下水道条例の一部改正について	原案可決(賛成多数)
池田市空家等対策協議会条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市火災予防条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市立敬老会館条例の廃止について	原案可決(全員異議なし)
池田市有功賞表彰について	原案可決(全員異議なし)
池田市教育委員会委員の任命について	同 意(全員異議なし)
池田市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意(全員異議なし)
令和5年度池田市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決(賛成多数)
令和5年度池田市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決(賛成多数)
令和5年度池田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市一般会計補正予算(第6号)	原案可決(全員異議なし)
令和5年度池田市一般会計補正予算(第7号)	原案可決(全員異議なし)
令和4年度池田市病院事業会計決算の認定について	継 続 審 査
令和4年度池田市水道事業会計決算の認定について	継 続 審 査
令和4年度池田市公共下水道事業会計決算の認定について	継 続 審 査
令和4年度池田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
令和4年度池田市財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
令和4年度池田市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
令和4年度池田市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
令和4年度池田市一般会計歳入歳出決算の認定について	継 続 審 査
池田市国民健康保険条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)
池田市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決(全員異議なし)

※継続審査とは、会議で議決した案件について、審査付託を受けた委員会が引き続き議会閉会中に審査を行うことをいいます。

やまばと

日頃から、池田市議会の活動に対し、御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。

さて、2023年、日本の夏の平均気温が過去最高を記録し、市民の皆様にとっても記憶に残る酷暑になったのではないのでしょうか。

9月定例会では、上下水道料金の改定に係る条例改正や、多世代交流施設開設準備、子どもの居場所づくりの推進、留守家庭児童会の整備に係る補正予算などについて審議し、原案どおり可決しました。

また、16名の議員が一般質問を行いました。本会議や委員会の様子は市議会のホームページから録画映像で御視聴いただけますので、御興味のある方はぜひ御覧いただきたくお願いいたします。

12月2日には、池田駅前において、市議会主催で献血活動を行いますので、皆様の御協力をお願いしたいと思います。

今後も議員一同、より過ごしやすしい池田のまちづくりと身近な市議会を意識して活動、発信してまいりますので「池田市議会だより」を御愛読くださいましたらありがとうございます。

市議会だより編集特別委員会
 委員長 西垣 智
 副委員長 中田 正紀
 委員 笹村 有子
 委員 藤本 昌宏
 委員 園部 佳子
 委員 山元 建